

家 庭

|      |     |    |     |
|------|-----|----|-----|
| 科目名  | 単位数 | 学年 | 学科  |
| 家庭総合 | 2単位 | 2年 | 普通科 |

|     |                           |     |  |
|-----|---------------------------|-----|--|
| 教科書 | 未来へつなぐ 家庭総合 365<br>(教育図書) | 副教材 | 家庭科ノート・調理実習ノート 基礎編<br>(愛媛県高等学校家庭科研究会編) |
|-----|---------------------------|-----|--|

|       |  |
|-------|--|
| 科目の目標 | 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。 |
|-------|--|

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

|   | 学 習 項 目             | 単元の評価の観点   |  |
|---|---------------------|--|--|
|   |                     | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
| 1 学期  | A編<br>第3章 子どもの生活と保育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の心身の発達と生活、遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深め、発達に応じて適切に関わるための技能を身に付ける。</li> <li>・栄養の特徴、食品の栄養的特質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。</li> <li>・住生活の特徴、防災や環境に配慮した住居の機能について理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子どもとの適切な関わり方を工夫する。</li> <li>・健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫する。</li> <li>・ライフステージと住環境に応じた住居の計画、防災などの安全や環境に配慮した住生活、日本の住文化の継承・創造について考察し、工夫する。</li> </ul> |
| 2 学期  | B編<br>第1章 食生活と健康    |  |  |
| 3 学期  | B編<br>第3章 住生活と環境    |  |  |
| <p>1 自分らしい、充実した人生をつくるために、問題解決的に主体的に学びましょう。</p> <p>2 実験・実習を通して理論を正確に学んだり、技術を身につけたりすることが大切です。</p> <p>3 学習内容を自分の生活に応用・発展させるように心掛けましょう。</p> |                     |  |  |

| 番号             | 評価の観点  | 評価規準   |
|----------------|--|--|
| ①              | 知識・技能  | 生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活環境などについて科学的に理解するとともにそれに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。 |
| ②              | 思考・判断・表現   | 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、科学的根拠に基づいて論理的に表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。                        |
| ③              | 主体的に学習に取り組む態度  | 課題の解決に主体的に取り組み、自分や家族、地域の生活の充実向上を図っている。   |
| 定期考査           | 1 学期期末    2 学期期末    学年末 (計3回)  |  |
| 評価方法<br>(観点番号) | 以下を総合的に評価する。<br>① 知識・技能 (定期考査、調理実習、製作活動)<br>② 思考・判断・表現 (定期考査、家庭科ノート、調理実習ノート、意見発表)<br>③ 主体的に学習に取り組む態度 (授業・実習態度、グループワーク) |  |

